



ひめ鏡

長



比賣盤純行卷第十六

紀行第十六目錄

周宣皇后 列女傳

明德皇后 後漢書

和喜皇后 同上

文德皇后 唐書通鑑

懷授皇后 日本紀

淳和皇后 日本後紀

崇賢門院 和論傳



比賣鑑紀行卷第十六

紀行第十六

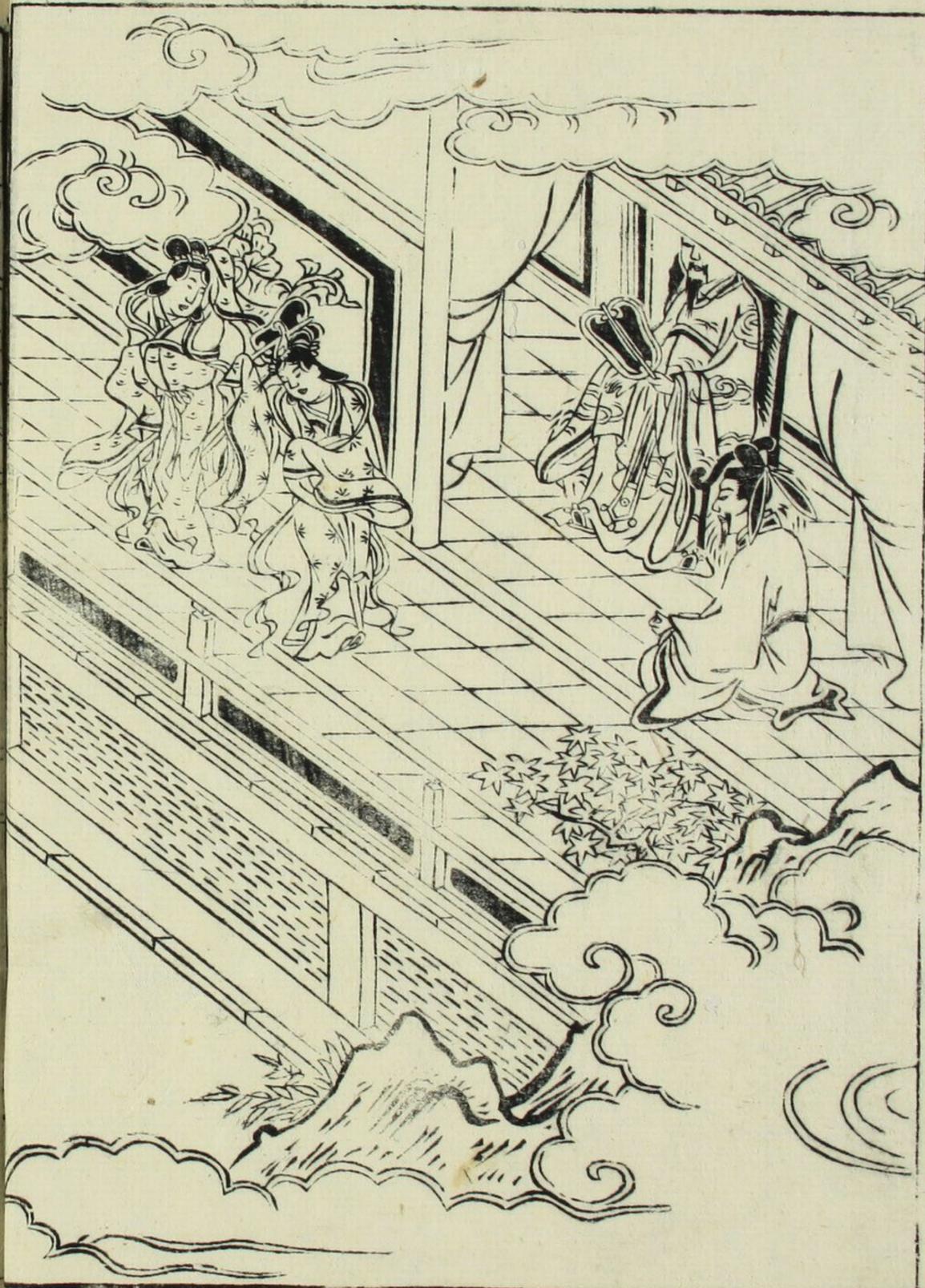
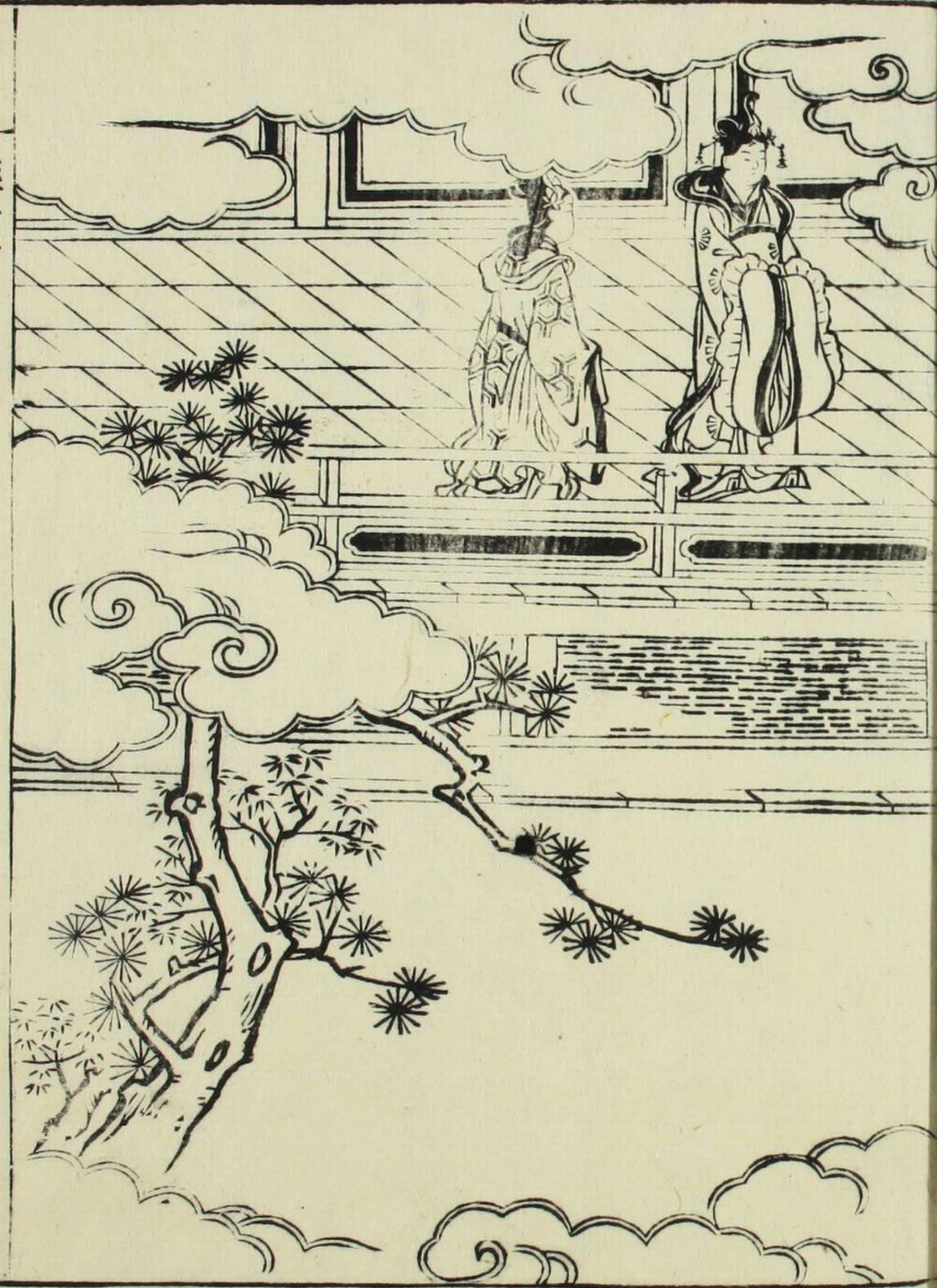
いせのまはるきあうのまよひのまよひのまよひ
 りー方とばいーちるゆらーゆらゆらゆらゆら
 ろらふまの敬鬼乃ととこなるあとあり
 いめ一周の宣妻后ととけら一周の宣妻后
 のまよひのまよひのまよひのまよひのまよひ
 のまよひのまよひのまよひのまよひのまよひ
 ろらふまの敬鬼乃ととこなるあとあり
 いめ一周の宣妻后ととけら一周の宣妻后
 のまよひのまよひのまよひのまよひのまよひ
 のまよひのまよひのまよひのまよひのまよひ
 ろらふまの敬鬼乃ととこなるあとあり
 いめ一周の宣妻后ととけら一周の宣妻后
 のまよひのまよひのまよひのまよひのまよひ
 のまよひのまよひのまよひのまよひのまよひ

比賣鑑

八〇

とも楚の荘よれま八楳大姫は若年よりゆめなむりあり
 一ふ嬖姫そのもげに世のつくもくもくはむりあり
 ともむりありありありありありありありありありあり
 渾の明酒を后馬氏に奉進す者明旨のすむればははむりあり
 馬按があはむりありありありありありありありありありあり
 ぶりけらうたりありありありありありありありありありあり
 ともれありありありありありありありありありありありあり
 大后よむりありありありありありありありありありありあり
 ともむりありありありありありありありありありありありあり

ごとのあはむりありありありありありありありありありあり
 ともむりありありありありありありありありありありありあり
 ともむりありありありありありありありありありありありあり



中よとりて^てま^るせんへの^ては^るを^かる^るび^くま^られ^たす^まを^あら^ふ
ら^のま^をよ^いつ^れま^ひを^あら^ふの^ては^るれ^たす^まを^あら^ふ
り^てあ^らふ^るを^あら^ふる^るの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま

あ^らふ^るの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま
う^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^まう^りの^ま

ゆいぎくこの海づりありたり正年四子ありわよ
やんぬまきしかりたるやんぬまきしかりたるや
うの事どもこれりよまふんぬまきしかりたるや
新しからざるやんぬまきしかりたるやんぬまき
は後よのまきしかりたるやんぬまきしかりたる

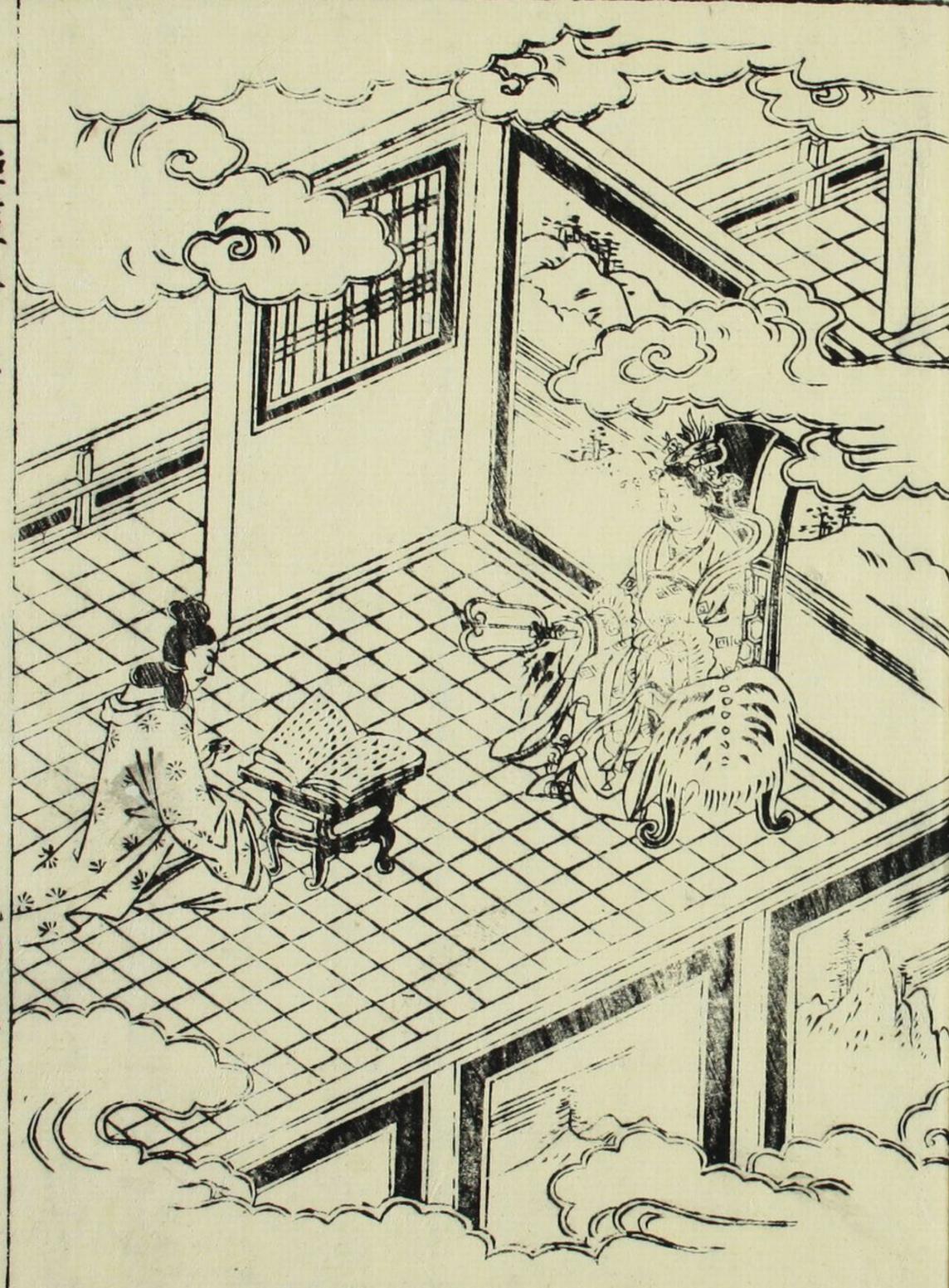
漢の和合臣都氏の後を傳都高がむ
まご後冠授都割がむとあり正年めらのころま
おやぢを夫人のけ后とありてまごのまきしかり
ころへおとよふらひもくしてまらうひおがうらかりを
まごのまきしかりたるやんぬまきしかりたる

まご后のりてまらうひおがうらかりを
まご后のりてまらうひおがうらかりを

出づるまのなまらむらひ女工メカのこころをいへくはく
 かくとみどぎくありすの所時又よとくたへらむらか
 けいあまをまじりたれどまのちのちのててまじりは
 ちらあまをたがはしつらむらむらむらむらむら
 うれむらむらむらむらむらむらむらむらむらむら
 とまのあまをいへむらむらむらむらむらむらむら
 とまのあまをいへむらむらむらむらむらむらむら
 んのほよあまをいへむらむらむらむらむらむらむら
 ぬくてれはむらむらむらむらむらむらむらむらむら
 ちつちあまをいへむらむらむらむらむらむらむら

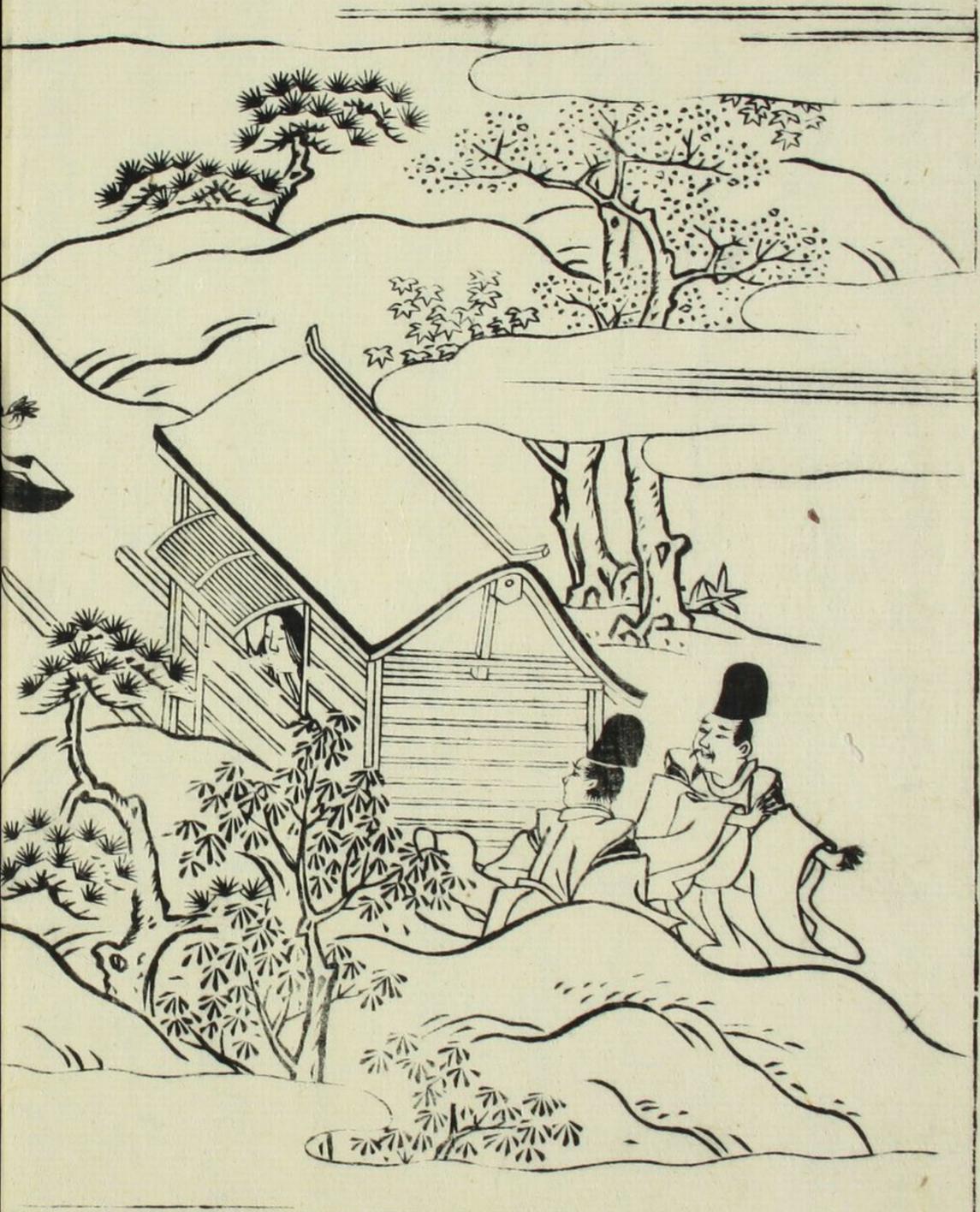
その下まゆれ今でもあつたあまをいへむらむら
 まむらむらむらむらむらむらむらむらむらむら
 めむらむらむらむらむらむらむらむらむらむら
 はむらむらむらむらむらむらむらむらむらむら
 してあまをいへむらむらむらむらむらむらむら
 あまをいへむらむらむらむらむらむらむらむら
 むらむらむらむらむらむらむらむらむらむらむら
 とまのあまをいへむらむらむらむらむらむらむら
 してあまをいへむらむらむらむらむらむらむら
 むらむらむらむらむらむらむらむらむらむらむら
 とまのあまをいへむらむらむらむらむらむらむら
 してあまをいへむらむらむらむらむらむらむら

うしてみくどののちりもあざしきかみしりしのかさ
 知このれいふしつはあはれ佐とありしすてあふ部
 ちりくしつかかごあはれあはれあはれあはれあはれあ
 やがてい事よはらまをありたればあはれあはれあはれあ
 しあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあ
 こまればあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあ
 ゆづせあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあ
 十あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあ
 とあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあ
 とあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあ
 とあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあ



平家宗子之ほむるよしをいひてはつらき事なれども
 なむとてうけあつらふ體澄がしるしめあはれに
 のあはれしむもつらき事なれどもつらき事なれども
 いふゆゑにうけあつらふ體澄がしるしめあはれに
 平家宗子之ほむるよしをいひてはつらき事なれども
 なむとてうけあつらふ體澄がしるしめあはれに
 のあはれしむもつらき事なれどもつらき事なれども
 いふゆゑにうけあつらふ體澄がしるしめあはれに

平家宗子之ほむるよしをいひてはつらき事なれども
 なむとてうけあつらふ體澄がしるしめあはれに
 のあはれしむもつらき事なれどもつらき事なれども
 いふゆゑにうけあつらふ體澄がしるしめあはれに
 平家宗子之ほむるよしをいひてはつらき事なれども
 なむとてうけあつらふ體澄がしるしめあはれに
 のあはれしむもつらき事なれどもつらき事なれども
 いふゆゑにうけあつらふ體澄がしるしめあはれに



ひんがしをばさふまゝに宿はなほなほまゝに
 乃さつたにほくすのつらみあり一のほふと掃掃
 尸はとせし宿に宿はなほなほまゝに
 ちよ果をもとびまわてあくそののていにて若う
 て尾のなりたふ地をむさひかへしあつてさう
 然りかんとあやしつゝあつてあつてあつて
 こゝろあつてつゝあつてあつてあつてあつて
 かりえんいふあまのかりしてあつてあつて
 してあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 とまゝななんぢもあらむいふはなほなほまゝに

けらよ金人作とつげさくほくしとあつてあつて
 よあげのがりてあつてあつてあつてあつて
 然りてみるもほくもあつてあつてあつてあつて
 とあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 られとあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 ほくもあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 かりえんいふあまのかりしてあつてあつて
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 まゝにあつてあつてあつてあつてあつてあつて
 とまゝにあつてあつてあつてあつてあつてあつて

世の所語りある人々くもつ時よ云々大臣お候て結社
 小幡常使と云ふれあはしむる事ゆへ森山府君れ
 余もふりつしと奏ししも森山府君の言れ被り
 ころの余賜ふんそとありの事と櫻の事つりて
 世の政と申さるる事たるに新明公のめへいふうて
 余をこれかていふ事いふをいふ事とて
 愚かき事なれどいふ事とていふ事とていふ事
 況やとらふ事ありき事ありき事とていふ事とていふ事
 ともいふ事とていふ事とていふ事とていふ事

比賣盤紀行卷第十七

比賣盤紀行卷第十七

紀行卷十七目錄

- 舟宿痛 列女傳
- 柳婕妤 唐話林
- 徳子媛
- 坂倉采女
- 法皇御孫 大和物語
- 藤子内親王 十割抄

小督局

慶長紀 和傳終

延行内侍

和傳終

輪子女王

目上

附二条院後波

目上

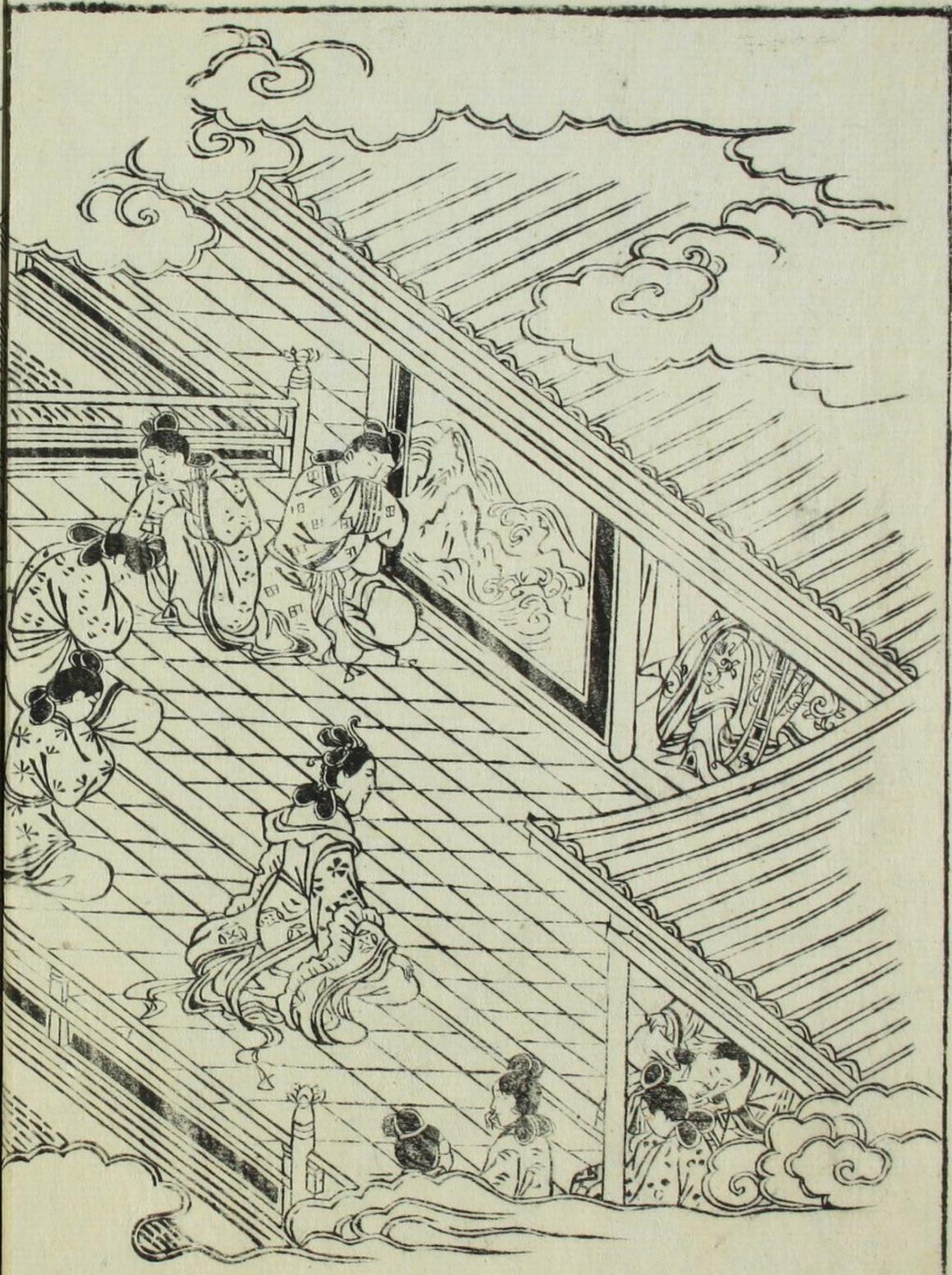
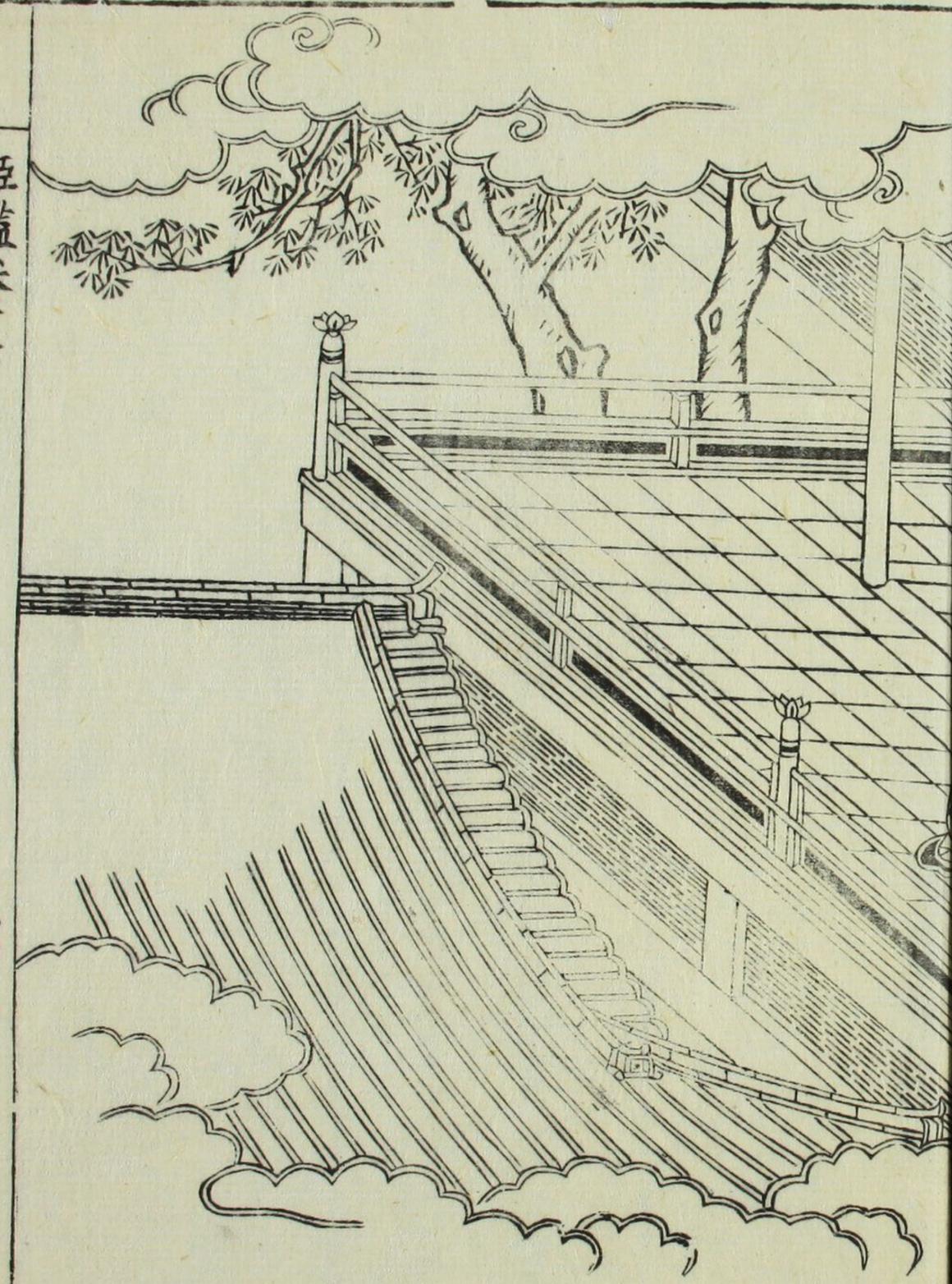
比賣鑑紀行卷第十七

紀行第十七

いさむすび十六のまねれ中の上なり
いさむすびの夜露をいけけりや一にむかひのし
なむそのうめがまぬくきむ痛のりくるなふ人れ痛
痛とむむきりあふれもむかひ人れむかひけりあつて
いさむすびのまねりいさむすびの園は東都とらふよお
あつむむかひのむかひのむかひのむかひのむかひのむかひ
あつむむかひのむかひのむかひのむかひのむかひのむかひ
これいさむすびのむかひのむかひのむかひのむかひのむかひ

如鏡卷十七

如鏡卷十七



してまかりおのゝとまよりのいあらば飛燕とてい存しこれ
 んぬくして許后班婕妤すけりよまゝ人とのろひ書と
 色くしてまよりのいあらば許后のつらば許后のつらま
 け後とありこれあり婕妤とてまゝのいきたるは
 ありまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま

すまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま
 しくまかりまよりのいあらば許后のつらま

よりの女もなほまゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 づりてはなほまゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 たうらむとてなほまゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 がせまゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 何のもちもあててうらむとてなほまゝと
 かならずもあててうらむとてなほまゝと
 ぢいぢりて人よもあててうらむとてなほまゝと
 人よれひけいせきとてうらむとてなほまゝと
 唐の柳建師（かたがは）はまゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 そのつりもまゝにきつゝうらむとてなほまゝと

つゝ板のつりてまゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 とらうてまゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 とらうとてまゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 宗は決してまゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 てまゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 くれどまゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 きけりまゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 とらふものまゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 せりり下まゝにきつゝうらむとてなほまゝと
 もうりり下まゝにきつゝうらむとてなほまゝと

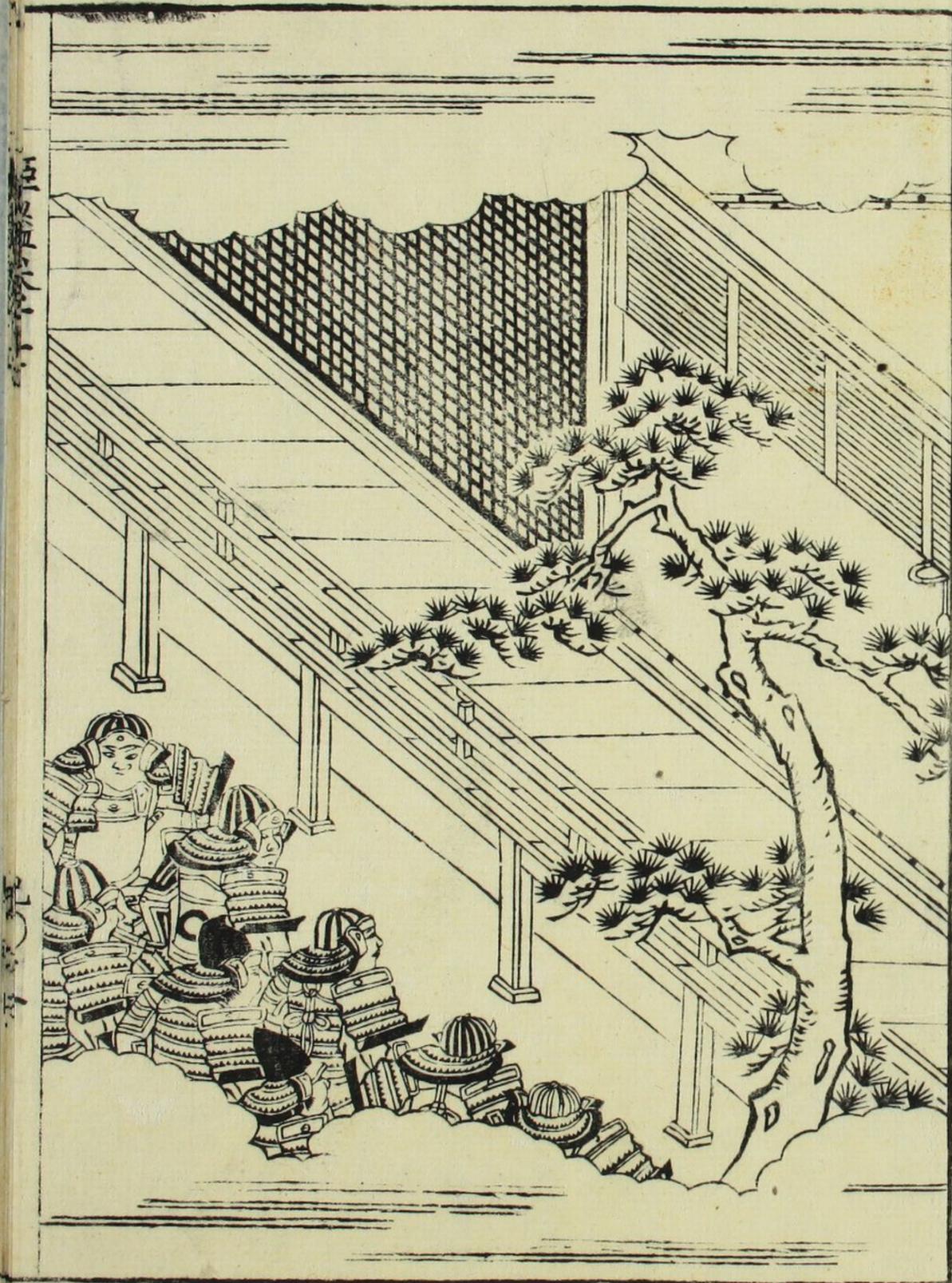
一 世宗

九

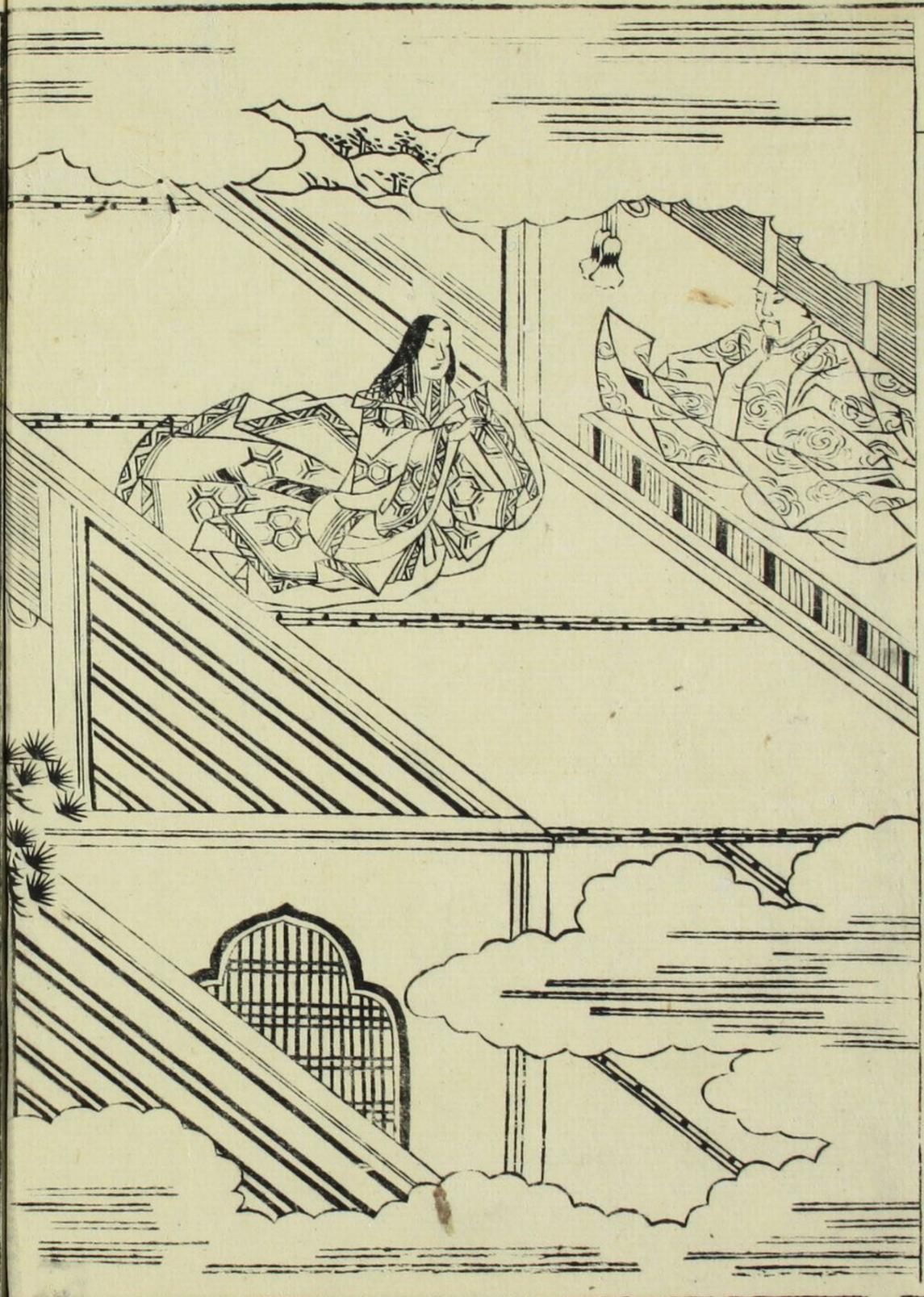
あわしのぎづら海ついでちまきびがよゆとあひ
うおやしてあつらん目か海くあふぶくさるる
世の女れやうのてあくもさうのくたやうあれ
かづり^{じや}あつたのりてあそびと事くすうよけ負候の酒
まげらうぞう^お物一むせうくうくうくくまてよこ
まとうらせり

うらあうしう^{かきん}海神と甲のほとれあ雲^あ総子媛
いひうら^あ雲連大侯^あ宿禰^あしとありう^ああれり
あすぶれてこ^あ人のふん^あた^あら^あく^あその^あゆ^あと^あは^あ
し^あう^あく^ああ^あひ^あて^ああ^あま^あら^ああ^あく^あの^あ林^あ明^ああ^ああ^あ

あやうそれあよう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あ
と^あう^あて^あ他^あの^あま^あう^あり^あて^あは^あら^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あ
婦^あた^あと^あち^ああ^ああ^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あ
あ^あは^ああ^ああ^ああ^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あ
は^あは^あう^あう^ああ^あひ^あく^あの^あ九^あ年^あよ^あ武^あ内^あ宿^あ禰^あと^あ流^あ出^あう^あう^あ
け^あして^あう^あう^あの^あ人^あは^あち^ああ^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あ
の^あ牙^あ耳^ああ^あ宿^あ禰^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あ
る^あ武^あ内^あつ^あの^あよ^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あ
新^あ羅^あ百^あ済^あの^あ番^あ人^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あ
あ^あん^あと^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あう^あ



五十二



如鑑卷十七

紀十一

戸川右兵衛とて軍兵といひしは、
はくは、
美加戸といふ所、
下とのいひんぶりの、
けんとを、
二人の、
武内君と、
あはれ、
あて君と、
くまりの

より、
は、
あつりて、
ア、
お、
ア、
う、
な、
らん、
人

こころのしづかにをりあはせりて終る
やまらあはれしりて感いりしりてや

ひく吉徳のふれ敷屋ヤのねちあはれりて解りてや

のふ女とてまけりてやあはれりてや

はあやめりてまけりて敷屋ヤのねちあはれりてや

あはれりてまけりてあはれりてや

花若酒ハナニホの代りてあはれりてあはれりてや

あはれりてまけりてあはれりてあはれりてや

かのうじのしほをうけて...
 下に...
 うき...
 の...
 湯院養子也親...
 福...
 ち...
 ら...

の...
 殿...
 ち...
 て...
 ち...
 ち...
 ち...
 ち...
 ち...

く及座に坐し人の食なりとてさうおぼはる中法座
みもよう身と座なりといふ事なきしなりと帝於念座の内
あもる人死ぬると事變のたもさうといひたる事さういも
さかへる座と物とさういふ事さういふ事さういふ事さ
う座と一に座と位なりといふ事さういふ事さういふ事
座と座とさういふ事

比賣燈紀行卷十七終

